

高校日本史プリント (過去問類似)

原始・古代 No.4

名前

得点

/10

問1 6世紀半ばの欽明天皇の時代頃に朝廷でまとめられたとされる、大王の系譜を記したものと、神話や伝承を記したものの総称で、のちに天武天皇の命によって編纂が始まり、8世紀に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となったとされる史料を何とよぶか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 帝紀・旧辞 2. 古事記・風土記 3. 天皇記・国記 4. 古事記・日本書紀

問2 志賀島で「漢委奴国王」の金印が授与されたとされる時代には、農耕社会の成立に伴う集落間の争いに備え、周囲に深い堀や土塁を巡らせた防衛機能を持つ集落が形成された。見張り用の高床建物跡などが検出されている、このような特徴を持つ集落の形態を何と呼ぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 拠点集落 2. 環濠集落 3. 高地性集落 4. 環状集落

問3 弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾周辺などの山頂や丘陵上に営まれた、軍事的な防衛機能や監視機能を持つとされる集落を何とよぶか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 低地性集落 2. 環状集落 3. 環濠集落 4. 高地性集落

問4 平安時代、宮廷では漢詩文や和歌の教養が重んじられ、天皇の命令による詩歌集の編纂が行われた。9世紀初頭に編纂された勅撰漢詩集に先立たれ、10世紀初頭に醍醐天皇の命によって編纂された、最初の勅撰和歌集は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 後撰和歌集 2. 千載和歌集 3. 古今和歌集 4. 拾遺和歌集

問5 平安時代初期、有力な貴族は大学に学ぶ一族の子弟のために大学別曹と呼ばれる施設を設けた。このうち、藤原氏によって設置され、のちに大学の教官から講義を受けるなど教育機関としての性格を強めたものは何か。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 勸学院 2. 奨学院 3. 弘文院 4. 学館院

問6 9世紀末に即位し、親政（延喜の治）を行った天皇の在位中には、菅原道真の左遷（昌泰の変）や、三善清行による「意見封事十二箇条」の提出、さらには東アジアにおける唐の滅亡など、国内外で大きな画期となる出来事が発生した。この天皇は誰か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 村上天皇 2. 醍醐天皇 3. 宇多天皇 4. 嵯峨天皇

問7 奈良時代、聖武天皇の治世において、鎮護国家の思想に基づく国分寺建立の詔が出される一方、開墾を促進して国家財政や地方支配の安定を図るために制定され、開墾した土地の永代私有を認めた法令は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 墾田永年私財法 2. 百万町歩開墾計画 3. 養老律令 4. 三世一身法

問8 7世紀から9世紀にかけて派遣された遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島の西海岸沿いを進む安全なルートがとられていたが、8世紀に入るとある国家との関係悪化に伴い、東シナ海を横断する危険なルートへの変更を余儀なくされた。この航路変更の要因となった、当時日本との緊張関係が高まっていた朝鮮半島の国家は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 高麗 2. 新羅 3. 百濟 4. 任那

問9 平安時代初期に編纂された説話集『日本霊異記』には、奈良時代の社会経済の実態を示す記述が見られる。同書には、平城京に位置するある大寺院の經典研究組織（修多羅分）の資金（錢）を民間人が借りて越前の敦賀で交易を行い、水運で物資を運ぼうとした話が記されている。この話に登場する、唐から帰国した僧の道慈が造営を指導したことで知られる寺院の名称を何とよぶか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 東大寺 2. 大安寺 3. 興福寺 4. 薬師寺

問10 平安時代初期に唐へ渡って密教を体系的に学び、帰国後は嵯峨天皇らの支持を得て、紀伊国の高野山に真言密教の根本道場を建立した僧侶は誰か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 円仁 2. 空也 3. 最澄 4. 空海

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 1 帝紀・旧辞	6世紀半ばの欽明天皇期頃に、朝廷において大王（天皇）の系譜を記した「帝紀」と、神話や伝承を記した「旧辞」がまとめられたとされる。これらは、天武天皇の命によって舎人親王や太安万侶らが編纂に関わり、奈良時代に完成した『古事記』や『日本書紀』の原史料となった。蘇我馬子が聖徳太子とともに編纂したとされる『天皇記』や『国記』は、乙巳の変の際に多くが焼失したと伝えられており、これらとは区別して理解する必要がある。
問2	答え 2 環濠集落	稲作の普及に伴って共同体間の対立や戦争が生じるようになると、集落の周囲に深い堀や土塁を巡らせて防衛機能を高めた集落が発達した。佐賀県の吉野ヶ里遺跡などに代表されるこの集落形態では、何重もの堀や見張り用の高床建物跡などが検出されている。なお、温暖化による海面上昇や貝塚の形成は主として縄文時代、半地下式の窯で焼かれる須恵器は古墳時代、ナウマン象の狩猟は旧石器時代の特徴である。
問3	答え 4 高地性集落	弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾沿岸などの標高の高い山頂や丘陵上に営まれた集落は高地性集落と呼ばれる。これらは平地から離れて生活には不便な場所にあり、倭国大乱などの戦乱期における軍事的な防衛や監視、あるいは烽火（のろし）台としての機能を持っていたと考えられている。なお、乗馬の風習や須恵器（硬質の土器）は古墳時代になってから朝鮮半島より伝わったものであり、弥生時代には存在しない。
問4	答え 3 古今和歌集	平安時代初期には漢風化政策が進み、嵯峨天皇らのもとで『凌雲集』などの勅撰漢詩集が編纂された。その後、国風文化の台頭とともに和歌の地位が向上し、10世紀初頭（905年）に醍醐天皇の命によって紀貫之らが最初の勅撰和歌集を編纂した。このように、勅撰漢詩集は勅撰和歌集に先立って編纂された歴史的経緯がある。
問5	答え 1 勸学院	平安時代初期、有力貴族は一族の学問を奨励し、大学に学ぶ子弟を支援するために大学別書を設置した。藤原氏が設けた勸学院のほか、和氣氏の弘文院、橘氏の学館院、在原氏の奨学院などがある。
問6	答え 2 醍醐天皇	宇多天皇の譲位を受けて即位した醍醐天皇は、菅原道真を右大臣に登用して親政を開始したが、901年に昌泰の変で道真を左遷した。その在位中には、907年の唐の滅亡や、914年の三善清行による「意見封事十二箇条」の提出など、国内外の政治体制が大きく揺らぐ出来事が相次いだ。なお、藤原基経と宇多天皇の間で起きた阿衡の紛議は、先代の宇多天皇の在位中の出来事である。
問7	答え 1 畠田永年私財法	聖武天皇の治世である743年に制定された。それまでの三世一身の法に代わり、開墾した土地の永久私有を認めたことで、貴族や大寺社による初期荘園形成の契機となった。元正天皇の時代に発せられた百万町歩開墾計画などとは区別する必要がある。
問8	答え 2 新羅	遣唐使の航路は、当初は朝鮮半島沿岸を進む安全な「北路」がとられていた。しかし、8世紀に入ると日本と新羅との関係が対立・悪化したため、新羅沿岸を通るルートの利用が困難になり、東シナ海を横断する危険な「南路」や「南島路」をとるようになった。
問9	答え 2 大安寺	『日本霊異記』に登場する、経典研究組織（修多羅分）の資金を民間人に貸し出していた寺院は大安寺である。大安寺は舒明天皇が建立した百濟大寺を起源とし、平城京遷都に伴って移転・改称された大官大寺の後身であり、入唐留学僧の道慈がその造営を主導した。史料からは、こうした大寺院の資金が民間の商業活動の元手として活用されていた実態がうかがえる。
問10	答え 4 空海	空海は遣唐使に同行して唐に渡り、恵果から密教の正統を受け継いで帰国した。帰国後は高野山に金剛峰寺を建立して真言宗の基盤を確立し、嵯峨天皇をはじめとする貴族層に広く受け入れられた。最澄の天台宗でものちに円仁や円珍によって密教が導入されたが、空海は当初から純粹な密教（東密）を日本に伝えた。